

平成29年度 議会報告会

報告1

議会活性化(改革)の取り組みについて



議会改革のあゆみ

〈主な経緯〉



H25. 3 掛川市議会基本条例制定

H25.10 議会報告会開始(市内9会場)

H26. 1 政策討論会開始(政策討論 → 政策提言)

H28. 3 掛川市健康医療基本条例制定(議員発議)

H28. 8 かけがわ子ども議会 (H29 中学生議会)開催

H28.12 議員定数削減可決(24席→21席)

H29. 2 手話通訳インターネット中継導入

H29. 3 政策提言(健康日本一に向けて)

H29. 6 託児サービスの導入(子育て世代の傍聴促進)

H29. 6 政務活動費の領収書をネット公開(平成28年度分～)

(H30. 2 代表質問制の導入)

議員定数の削減

合併前54人 (掛川24+大東16+大須賀14)

30人 → 24人 → 21人

(H17)

(H21)

(H29)



政務活動費の更なる透明化

領収書のインターネット公開

透明性
の確保

本年6月30日より、市議会のHPで
平成28年度分と平成29年4月分を公開

政務活動費の見方

①掛川市のホームページ



②掛川市議会



③政務活動費

政務活動費のページへ



代表質問の導入

平成30年第1回(2月)定例会から



会派を代表して、
施政方針や予算に
対して質問します
(2人以上の会派)

創世会
11人



共に創る掛川
6人

市政に反映したいことや、考え方が同じ議員が集まった政策集団

☆掛川市議会には、

創世会・共に創る掛川・至誠の会・志誠会・公明党かけがわ・日本共産党の6会派あります。

更なる活性化を目指して



調査
検討中

H29年も引き続き

議会活性化特別委員会を設置

- ・行政評価システムの導入
- ・常任委員会活動の活性化

「議会だより」も紙面刷新中

- ・広報広聴機能の充実へ！

報告2

健康日本一に向けた提言について



政策提言

掛川市議会は、市民の付託に応えるべく、市民参加の機会の拡充や政策立案機能を強化するため、議会報告会と政策討論会を開催し、議会報告会で市民から出された多様な意見を基に、安全で安心できる社会、誰もが住みたくなるまちづくりに実現のために、政策討論を重ねて参りました。

今年度の議会報告会のテーマを「お達者度日本一を目指して」として、市民の皆さんと意見交換を重ねて参りました結果を基に、議会として、現状と基本認識を共有するために、行政側のご意見も聞かせていただきながら今後の対策について政策討論会において討論を重ね、この度「健康日本一に向けて」という政策提言に取りまとめました。

市長におかれましては内容を十分ご理解いただき、行政に反映されます事を切に要望します。

平成29年3月8日

「掛川市健康医療基本条例」

平成28年3月議員発議

以前の政策提言により実現した施策

握力計(17台)血圧計(10台)公的機関に設置 ・ 在宅医療推進員の設置
・ 人生設計ノート配布(29年3月) ・ 健診率向上の施策 など



市民の健康は最重要課題の一つ

市長へ「健康長寿実現」のための提言

4つの提言

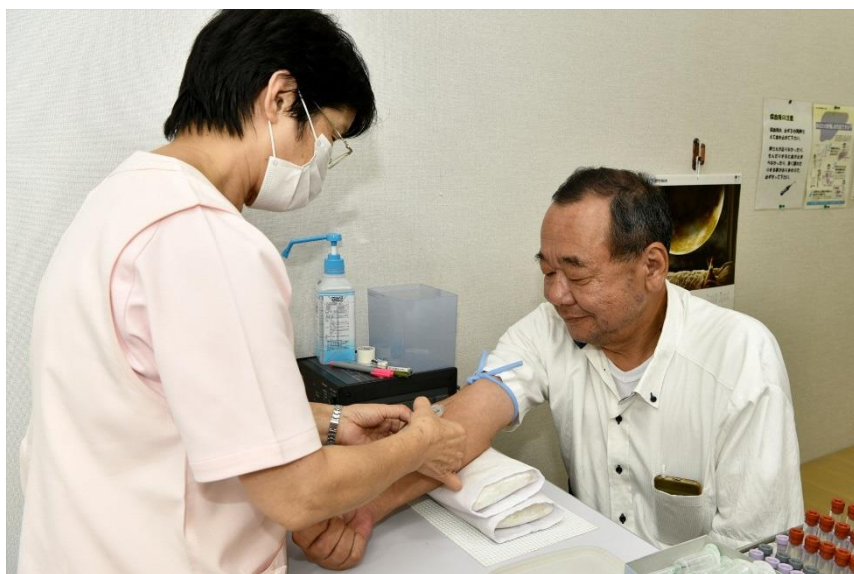
提言の成果

提言1 検診率の向上について

平成29年度から、レディース総合ガン検診を実施

提言2 健康増進プログラムについて

民間企業とまち協との協働により、魅力あるプログラムを検討
(ユニチャーム様・杏林堂様等ソーシャルウォーキング実施)



提言3 健康意識、自己管理意識の向上について

公共施設に血圧計や握力計を設置、「ふくしあ」や「まち協」でも活用。
健康フェアなど健康意識に繋がるイベントの開催。

提言4 行政組織体制の充実について

かけがわ「生涯お達者市民」推進プロジェクトの取り組み。
職員の意識向上と市民にわかりやすい組織体制。

(保健予防課→健康づくり課、高齢者支援課→健康長寿課など改名)



テーマ(1)

迫りくる豪雨災害に備えて

1. 豪雨災害とは？
2. 九州北部豪雨災害／
掛川での過去の大雨・土砂災害
3. 掛川市からの防災情報
4. 現在の大雨の特徴
5. 今できること

1. 豪雨災害とは？



本年7月の九州北部豪雨による土砂災害、一昨年の広島県豪雨による土砂崩れなど、近年は短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨(ゲリラ豪雨)が頻発！

2. 九州北部豪雨

～災害現場事例1～

福岡県朝倉市内7/18/2017
(災害発生から**10**日後) 撮影



2. 九州北部豪雨

～災害現場事例2～

福岡県朝倉市内7/18/2017
(災害発生から**10**日後) 撮影



2. 九州北部豪雨

～災害現場事例3～

福岡県朝倉市内7/18/2017
(災害発生から**10**日後) 撮影



2. 掛川地区:過去の大雨・土砂災害

連雀通り



掛川西高付近

昭和57年9月12日 台風18号



2. 掛川地区：過去の大雨・土砂災害

下垂木1区(新田住宅地) 床下浸水22戸、道路冠水(3箇所)



吉岡地内 (堤防越流による孤立住宅からの救出)



市道丹間線

平成26年10月5～6日 台風18号



2. 大須賀地区：過去の大雨・土砂災害

清ヶ谷区



西大谷区

平成26年10月5～6日 台風18号

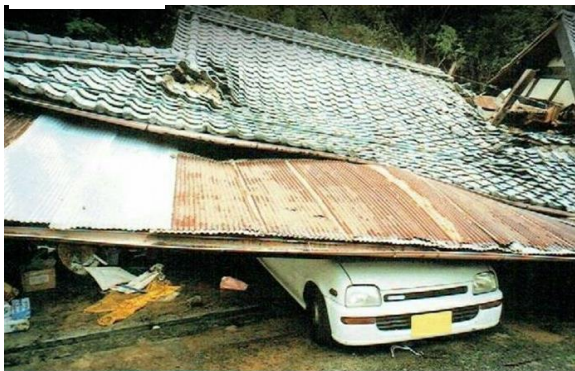


西大谷区



2. 大東地区：過去の大雨・土砂災害

H10 土方



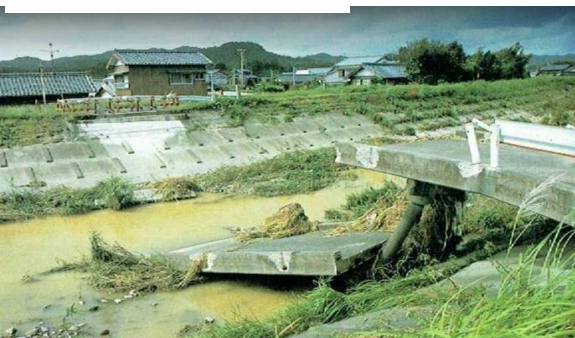
H27 柳沢川



H29 市道 極楽ヶ谷線



H10 下土方(第1城東橋)



H28 市道 貞永寺南ヶ谷線



3. 掛川市からの防災情報

掛川市防災ガイドブックP11&12

浸水想定区域 洪水災害に備えて（掛川市洪水ハザードマップ）
http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/bousai/bousaitaisei/kouzuihazadomap.html

浸水想定区域は、次の2種類の氾濫が起こった場合の浸水区域を示しています。

外水氾濫
河川の水位が上昇し、堤防から水があふれ住宅などが浸水します。

内水氾濫
一時的に排水施設の処理能力を超える場合や、河川の水位上昇に伴って雨水を排水できない場合に建物、道路などが氾濫します。

避難方法

情報収集
大雨警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報（同報無線、テレビ、ラジオ、インターネット、同報無線メール）から収集します。
(1) 市から「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」が発令されたら避難行動をとります。
※ 川の近くや浸水のおそれがある低地では、避難勧告を待たずに早めの自主避難をします。

避難行動

周囲が浸水していない場合
(1) 浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全です。
(2) 危険を感じたら早めに「避難場所」へ避難。または近くの高い建物の2階以上へ避難します。

危険区域外への避難
※ 避難所

浸水想定区域 浸水想定区域外

すぐに避難！

周囲が浸水している場合／外に出るのが困難な場合
(1) 周囲の道路で浸水が始まっている、台風などの風雨が激しい場合は、「避難場所」へ行くことが、かえって危険な場合があります。
(2) その場合は、自宅の2階など、できるだけ高い所へ避難します。
(3) 20cm程度の浸水でも、流れがある場合は危険です。
(4) 10cm程度の浸水でも、濁った水で足元が見えない場合は危険です。倒滑やマンホールに注意します。

浸水可能

自宅の2階部分
近くの頑丈な建物の2階以上

水位観測地点

水系名	河川名	観測所名	所在地	水防所（m）	氾濫注意（m）	避難判断（m）	氾濫危険（m）	避難危険高（m）
菊川	菊川	加茂	菊川市加茂小川橋	1.50	2.50	3.20	3.50	左 7.7 右 7.6
		柳田	菊川市西柳田	2.00	4.30			左 7.4 右 7.5
	牛瀬川	堂山	菊川市堂山新田	3.10	4.60	4.90	5.30	左 7.6 右 7.5
	下小笠川	川久保	掛川市川久保	1.40	2.00	3.00	3.30	左 4.4 右 4.6
	原野谷川	吉岡橋	掛川市吉岡	2.70	3.20			左 5.7 右 5.3
大田川	逆川	柳田	掛川市柳田	2.60	4.50	5.20	6.10	左 9.08 右 8.93
		金城橋	掛川市金城	3.50	4.00	4.50	4.90	左 6.51 右 6.60
	倉真川	上屋敷	掛川市上西郷	2.90	3.40			

水位情報と用語

堤防高	川の水位	掛川市が発令する情報	発令の基準など	とるべき行動
堤防高	川の水	避難指示の発令	堤防天端高に達するおそれがある場合、または異常な漏水や亀裂・すべりなどにより決壊のおそれが高まった場合に発令。	直ちに避難場所へ避難します。
氾濫危険水位	氾濫危険水位	避難勧告の発令	氾濫危険水位に達し、さらに上昇するおそれがある場合に発令。	避難場所に、速やかに避難します。
避難判断水位	避難判断水位	避難準備情報の発令	避難判断水位に達し、さらに上昇するおそれがある場合に発令。	避難の準備を始めます。 体の不自由な人、お年寄りや子供は、早めに避難します。
氾濫注意水位	氾濫注意水位			
水防団待機水位	水防団待機水位			
平常時水位	平常時水位			

～掛川市の水害～
平成26年10月6日の台風18号では、黒俣で総雨量416mm、時間最大81mmの猛烈な雨が降り、各地で浸水被害が発生しました。

黒木川の氾濫

雨の降り方と注意報・警報の基準

区分	発表基準（注意報・警報）	
	注意報	警報
平地	50mm以上／h	80mm以上／h
平地以外	70mm以上／h	100mm以上／h

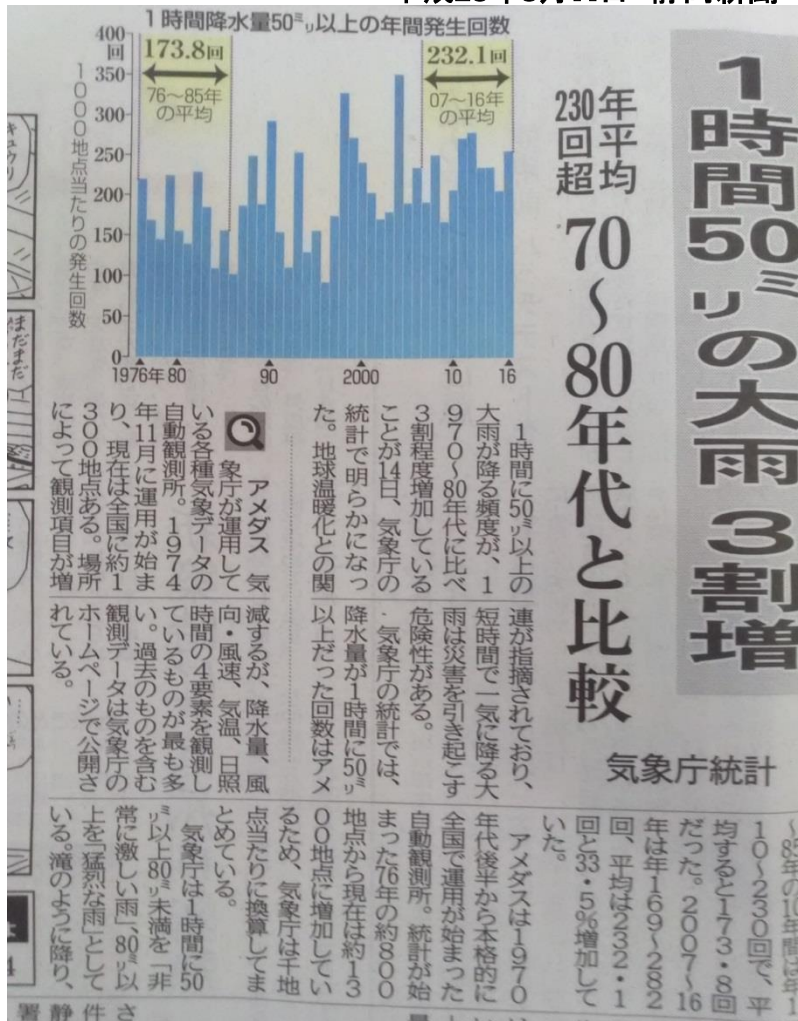
発表基準（特別警報・大雨情報）	
大雨特別警報	記録的短時間大雨情報
151mm以上／3h	110mm以上／h
361mm以上／48h	

4. 現在の大雨の特徴

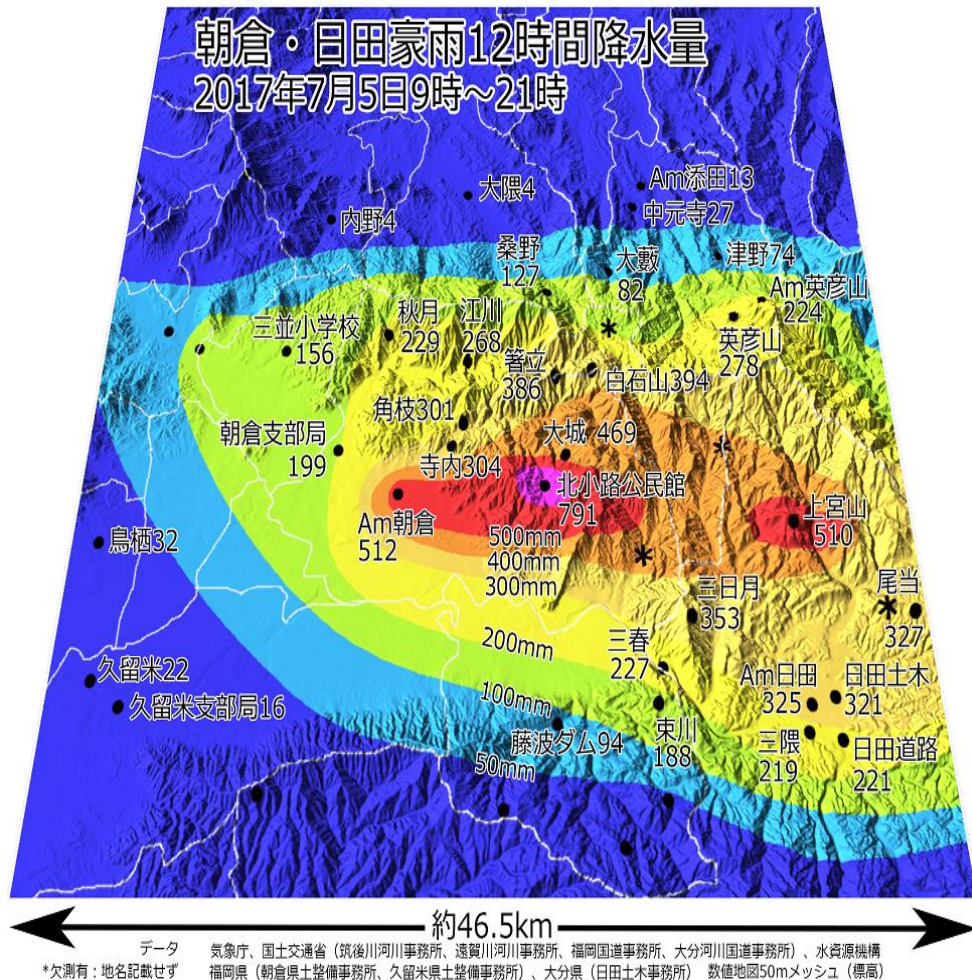


- 短時間に降る
- 局地的に降る
- 大量(想定外)に降る

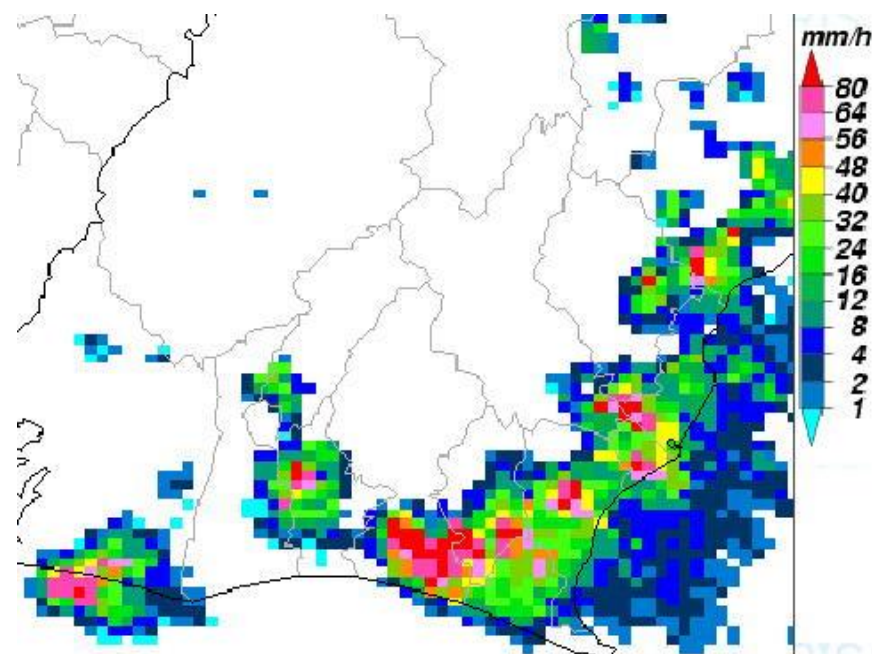
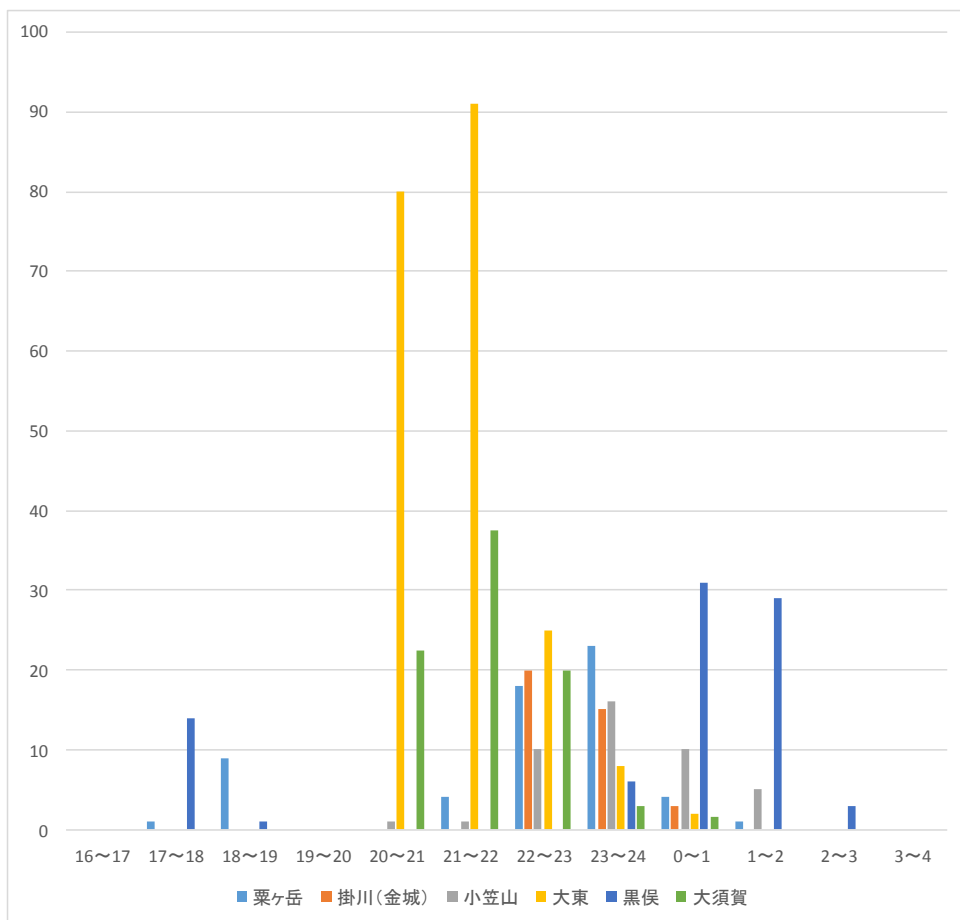
平成29年8月14日 静岡新聞



九州北部豪雨災害降水量分布



平成28年8月15～16日 時間別雨量の推移



現在の豪雨に対して どう対応するか？



初動対応が重要！

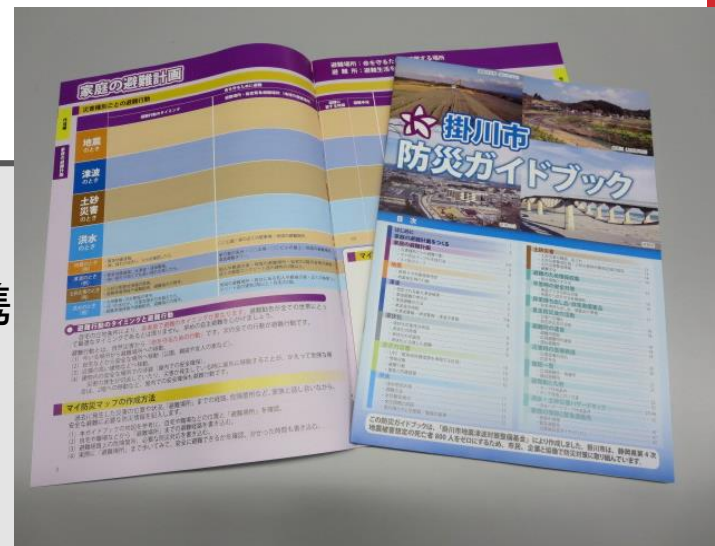
初動とは

- ・地元の的確な情報を収集
- ・できるだけ早い判断で避難

**今、本当に的確な
初動がとれるのか？**

5. 今できること

- ・地区防災計画の確認と、家庭の防災計画の作成
- ・まちづくり協議会・自主防災会、地元消防団との連携
- ・災害への備え／非常用持ち出し品の点検・再確認
- ・雨や風が強くなる前に、家具の固定化、家屋の補強
- ・災害時の家族内でのルール・決め事の確認
- ・災害発生時に適切な避難行動がとれるよう「掛川市防災ガイドブック」を熟読し身の回りの「災害危険箇所」を把握、各家庭の「避難場所」「避難所」を確認



一人ひとりの最適な行動を行政が示すのは困難

「自助、共助、公助」、先ずは**自助**！
自分の身は自分で守るのが基本!!!

市議会として:

- 過去5年 防災に関する一般質問 36回
- 市内河川の状況確認(護岸、土砂、橋梁、など)
- 市／県土木行政への陳情
- 土砂災害防止機能強化のため森林整備の促進

- ・太田川原野谷川治水水防組合
- ・二級河川弁財天川水系改修期成同盟会
- ・菊川改修期成同盟会
- ・逆川改修工事促進期成同盟会
- ・垂木川の改修の進める会
- ・原野谷川を愛する会
- ・浅羽地域湛水防除施設組合

全市民が的確な初動をとれるよう、リアルタイムな情報を共有できるシステムの構築を含め、市民・行政と協働し、みなさまの安全・安心を確保できるよう努めます。

テーマ(2)

公共施設マネジメントについて

～公共施設の現状と課題～

掛川市の公共施設の現状

掛川市は、昭和50年代までに建設された公共施設が多数を占め、今後一斉に更新時期を迎えます。



計画的な公共施設
の更新が必要

人口減少、少子高齢化、市町村合併、ニーズの変化

公共施設の老朽化

財政状況の変化

公共施設の老朽化(学校施設)



雨漏りによる腐朽



ベランダ下のひび割れ

公共施設の老朽化(シートピア 平成10年築)



天井のふくれ



排気ダクトのサビ

平成27年撮影

公共施設の安全対策(さんりーな)



天井部品落下



天井部品落下

平成21年8月駿河湾地震 震度5弱

公共施設の老朽化(水道管)



配管の腐朽



ボルトの腐朽

公共施設の老朽化(小笠山トンネル 昭和53年建設)



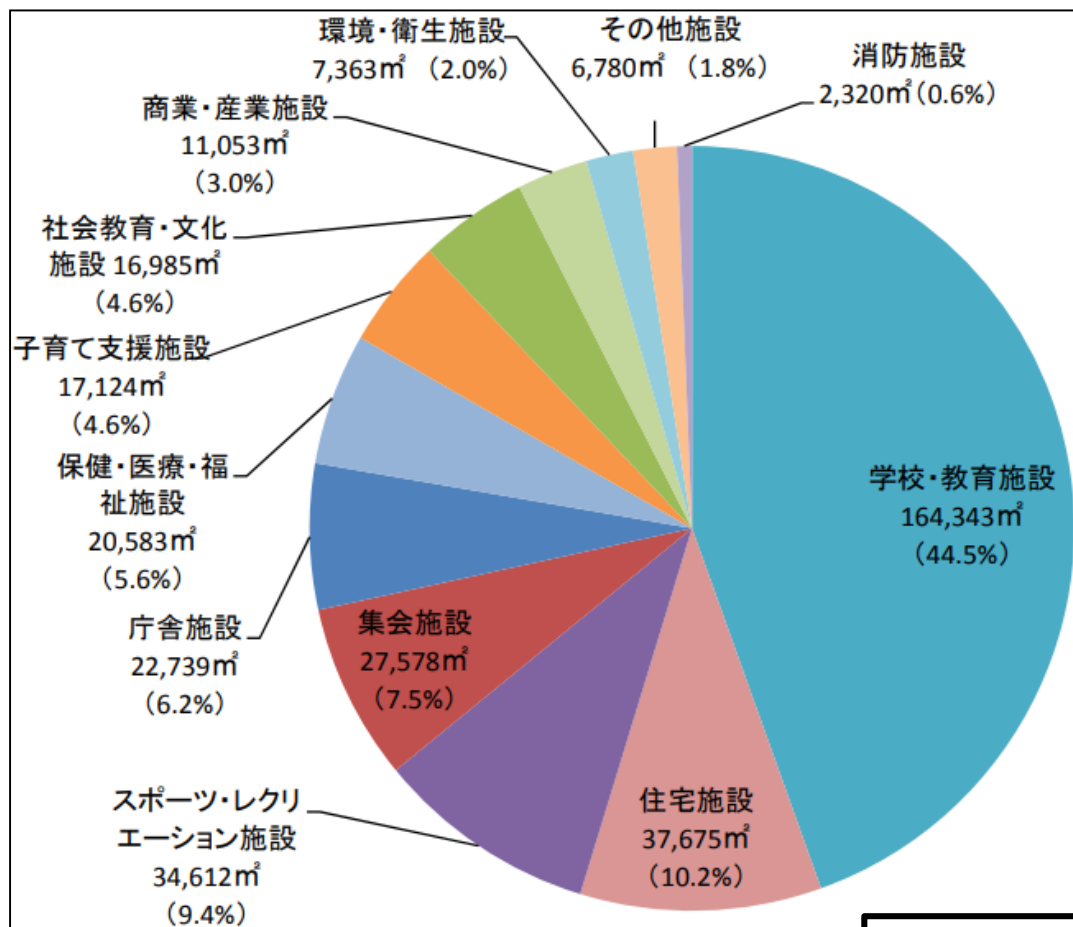
天井のモルタルが剥落



モルタルの剥落(拡大)

平成25年撮影

市が所有している建築物(用途別 200㎡以上)

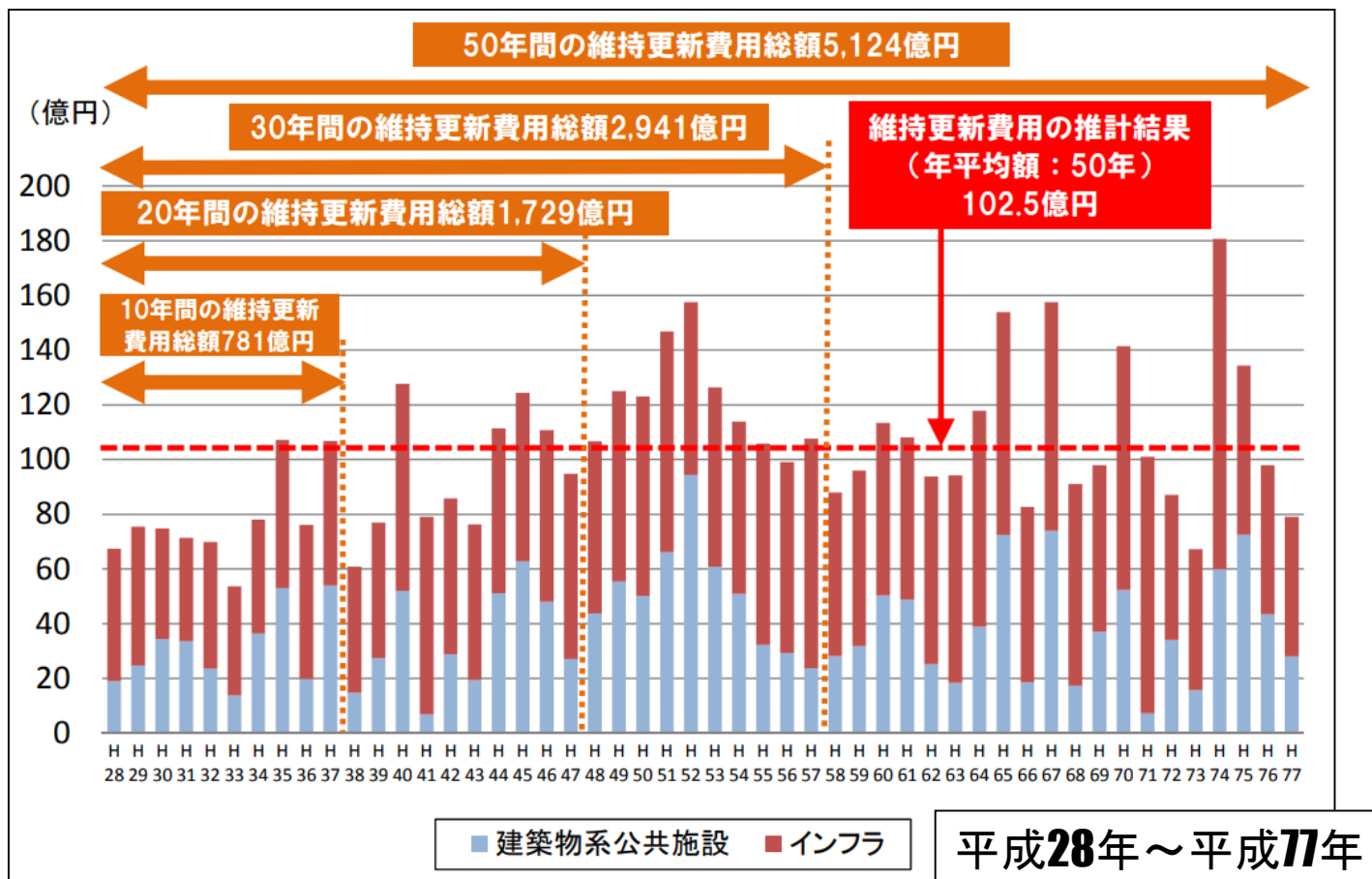


総公共施設数
212施設

市が所有しているインフラ(抜粋)

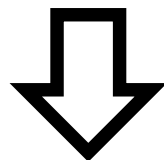
施設	施設数	施設規模	比較：おおむねの直線距離等
道路（県、国道除く）	6193路線	1,978km	北海道稚内から鹿児島県屋久島
トンネル（同上）	12本	1,153m	-
橋梁	1,274橋	12,522m	-
河川（市管理河川）	295河川	398km	掛川市から新潟市
上水道		1,041km	掛川市から札幌市
下水道		343km	掛川市から新潟市
都市公園	173ヶ所	187ha	東京ドーム40個分
ため池	231ヶ所	-	

今後50年でかかる費用(建築物+インフラ)



今後50年でかかる費用(建築物＋インフラ)

公共施設の維持費に50年間で
約5000億円必要



年平均約100億円必要

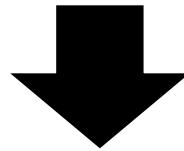
参考：掛川市の平成29年度予算額

一般会計 473億円

特別会計 276億円

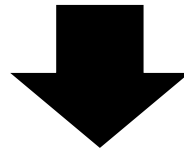
総額749億円

維持管理に必要な費用
年平均 100億円



上下水道は別会計
のため**30億**は除く

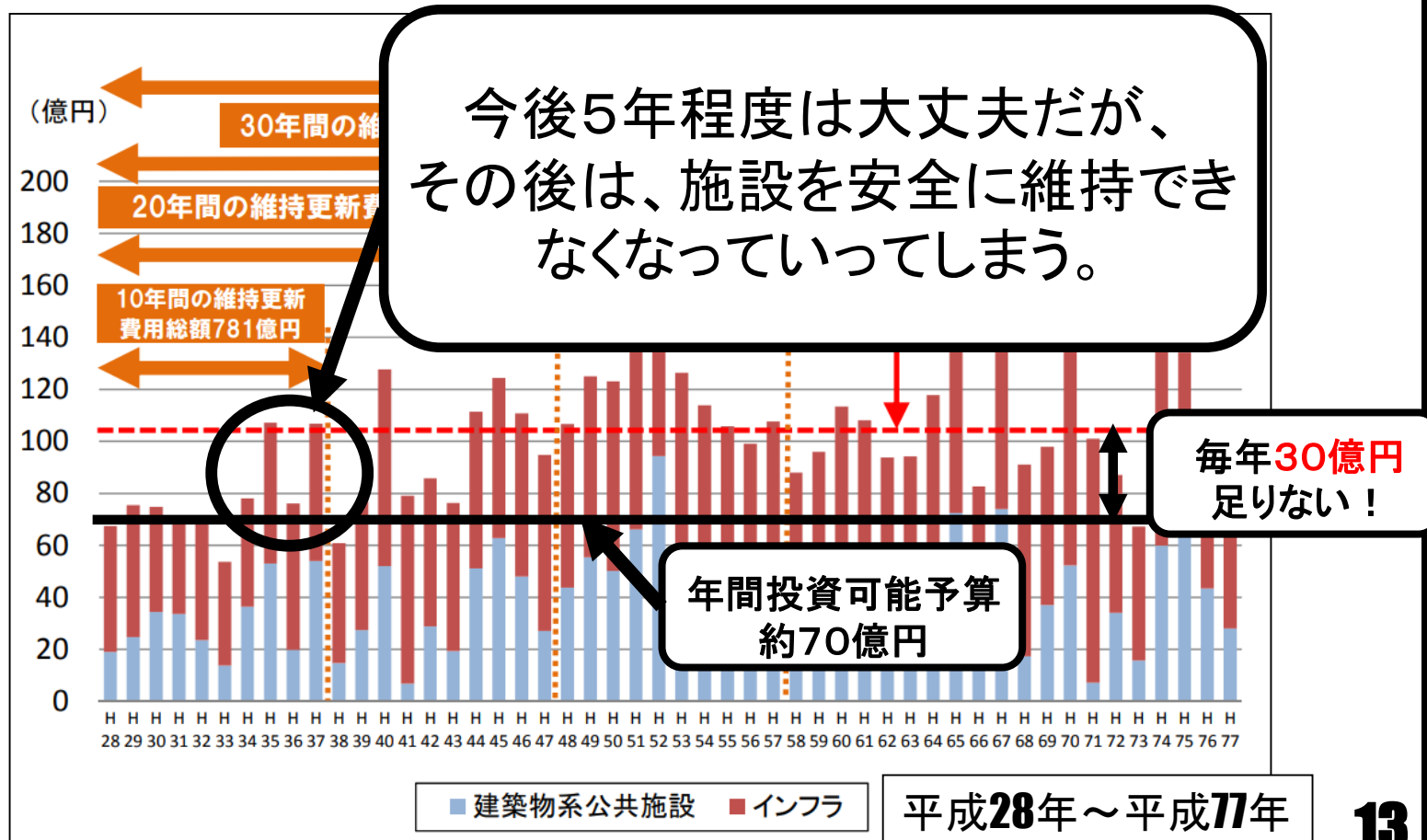
一般会計分 年平均 70億円



維持管理の投資可能予算
年平均**40億円**

毎年**30億円**足りない！！

さきほどのグラフで考えると・・・



【新設】から【賢く長く丁寧に使う】へ

保有総量の適正化

- ・施設や行政サービスの必要性の検討
- ・施設保有総量の圧縮
- ・機能に基づく適正配置
- ・近隣自治体との連携

長寿命化と安全確保

- ・長寿命化のための予防保全
- ・安全確保と耐震化

運営管理の適正化

- ・経費縮減・収入の確保
- ・官民協働による運営管理

掛川市の取組①(運営管理の適正化)

見直し項目

健康ふれあい館(大東温泉シートピア)
の経営改革(指定管理期間**H28～H32**)

主要内容

運営費として年間約**6,000万円**かかっていた指定管理料を新たな企業の公募により年間**2,720万円**となった。

※施設の維持管理費は別途かかります。

いままでの指定管理業者:

(公財)掛川市生涯学習振興公社

新しい指定管理業者:

(株)ユアーズ静岡



大東温泉シートピア

掛川市の取組②(運営管理の適正化)

見直し項目

掛川城、二の丸茶室、竹の丸の経営改革
(指定管理期間**H26～H35**)

主要内容

指定管理先を外郭団体から新しい指定管理者とし、毎年約**2,500万円**の赤字だったものを2年間で黒字化した。

新指定管理者:**【株】呉竹荘などの事業共同体**

平成**22**年度支出 **24,594**千円

平成**29**年度予想支出 **0**円

(見直しによる差額 **24,594千円**)



掛川市の取組③(保有総量の適正化)

見直し項目

大東体育館と大須賀体育館を廃止し新体育館へ統合(指定管理期間**H26～H35**)

主要内容

大東区域と大須賀区域にそれぞれ設置されていた老朽化した体育館を廃止して、新しい体育館(南体育館)を設置した。

新指定管理者: 掛川市体協ミズノグループ

平成**22**年度当初予算 **37,776**千円

平成**29**年度当初予算 **15,656**千円

(見直しによる差額 **22,120**千円)



南体育館し～すぽ

掛川市の取組④(保有総量の適正化)

見直し項目

掛川市立総合病院と袋井市民病院の統合

主要内容



- ・両市の市立病院の老朽化などに伴い、全国初の市立病院同士の統合による**中東遠総合医療センター**の開設。病院跡地は、特別支援学校や特別養護老人ホーム、ふくしあ等から成る『**希望の丘**』を整備。
- ・病院建設時は、**新病院建設・地域医療対策特別委員会**を設置。
- ・**掛川市・袋井市病院企業団議会**(掛川市5名)として予算は議会の承認が必要

現在までの取組

平成28年3月 掛川市公共施設等総合管理計画の策定

平成29年度 公共施設マネジメント推進特別委員会設置

- ・市内各施設の現地視察による現状確認
- ・再配置適正化計画作成に向けた議論
- ・他都市の先進事例視察(11月2日湖西市等)
- ・施設のデータベース化に向けた助言

今後のスケジュール

平成30年度 複数施設の維持管理包括委託、
公共施設マネジメント体制の強化

平成31年度以降 再配置適正化計画の策定・実践など

最後に……

市議会として、今まで維持管理の適正化を中心に進めてきました。しかし、毎年30億円の経費削減のためには、今後、『**各施設の集約**』が**必要不可欠**です。

**『子どもたち、孫たちに
ツケを残さない！』**

掛川市の未来を明るい未来とするため、皆様の声をお聞かせください。



ご清聴ありがとうございました。

掛川市議会